

60 ラジオ、ステレオの使い方

アンテナ	60
サテライト・スイッチ	60
4スピーカー電子同調AM/FMマルチ・ラジカセ一体機	61
カー・オーディオの上手な使い方	67

アンテナ

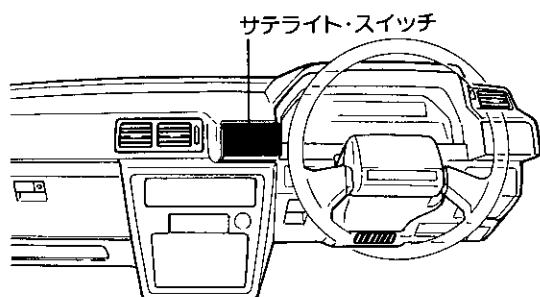
アンテナは、リヤ・ウインドウ・ガラスに埋め込まれています。



アンテナ入りガラス(室内側)の清掃は、湿った布で熱線にそって軽くふいてください。
ガラス・クリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。

サテライト・スイッチ

メーター左側のスイッチで右記の操作ができます。



エンジン・スイッチがONまたはACCのときに使用できます。

▶ ラジオを聞くときは

- ラジオ電源のON、OFF
- 音量調整※
- AM/FM放送の切り替え
- 自動選局

▶ テープを聞くときは

- 音量調整※

※ラジオ本体の音量調整ツマミで音量を調整したあとサテライト・スイッチの音量調整ツマミを回せば音量の微調整が行えます。

ラジオ、ステレオの使い方

電源スイッチ
押す

音量調整ツマミ
小 大

AM/FM切り替えボタン
BAND
押す

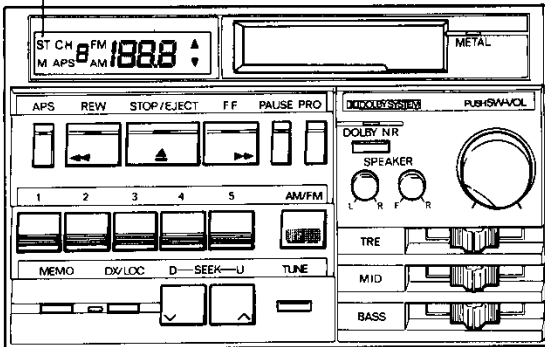
自動選局ボタン
SEEK
押す

ラジオについての音量調整ツマミで音量を調整するときは、サテライト・スイッチの音量調整ツマミを中央の位置にしておいてください。

● 周波数の高い方へ選局するときは△側
● 周波数の低い方へ選局するときは▽側

4スピーカー電子同調AM/FMマルチ・ラジカセ一体機

ステレオ放送受信表示



ちょっと一言

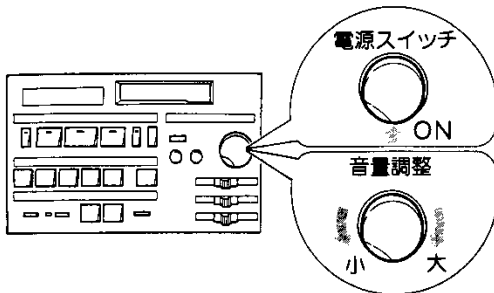
1. エンジン停止時は、ラジオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
2. 安全運転をさまたげないように、適度な音量でお聞かせください。

ラジオ放送を聞くには

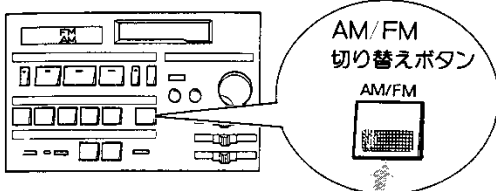
- 1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



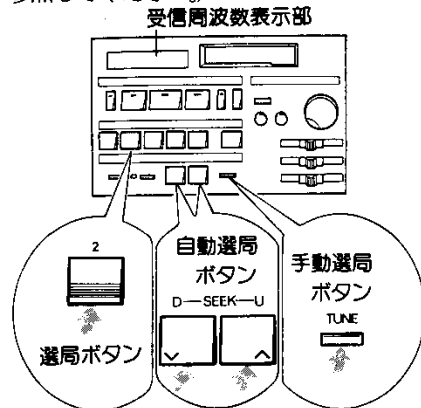
- 2 電源スイッチを押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。音量調整ツマミを回して音量を調整します。



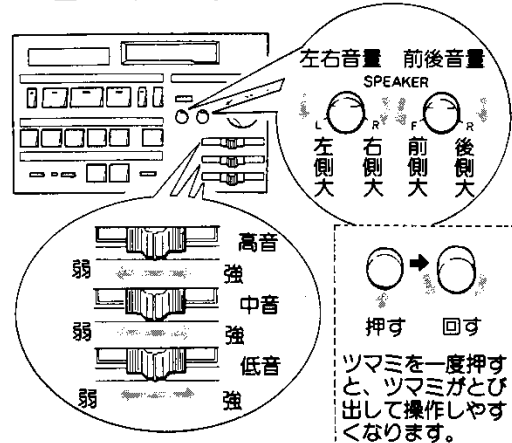
- 3 AM/FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。



- 4 手動選局ボタン(TUNE)、自動選局ボタン(SEEK)または選局ボタンを押して希望の局を選びます。(次ページの「選局のしかた」または63ページの「選局ボタンのセット」を参照してください。)



- 5 次の調整ツマミについてはお好みに応じて調整してください。

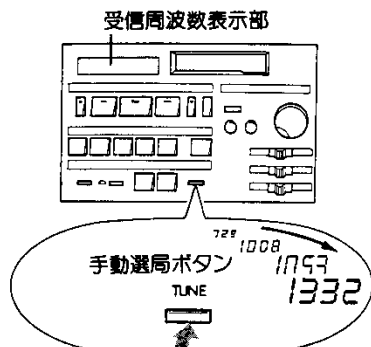


ラジオ、ステレオの使い方

選局のしかた

▶手動選局

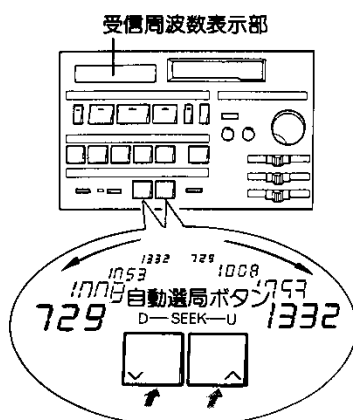
- ① 手動選局ボタン (TUNE) を押して希望の周波数にあわせます。1回押すごとに段階的に周波数が高い方へかわり、押し続けると連続して周波数が高い方へかわります。



手動選局ボタンを押し続け、最高周波数になると再び最低周波数にもどります。

▶自動選局

- ① 自動選局ボタン (SEEK) を押して手を離します。放送を受信したら自動的に止まります。
- 周波数の高い方へ選局するときはU側
 - 周波数の低い方へ選局するときはD側

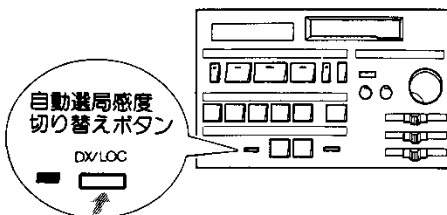


このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。



自動選局を解除したいときは、手動選局ボタンを押してください。

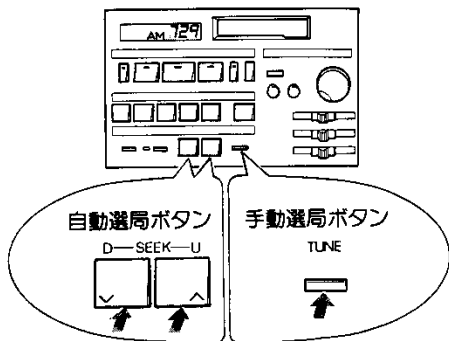
- ② ビルの谷間などで受信電波が弱く選局しにくくなったときは、自動選局感度切り替えボタン (DX/LOC) を押してください。



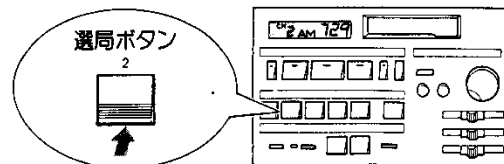
自動選局感度切り替えボタンを押しても選局しないときは、手動選局ボタンで選局してください。

選局ボタンのセット

1 手動選局ボタン(TUNE)または自動選局ボタン(SEEK)で記憶させたい放送局の周波数にあわせます。

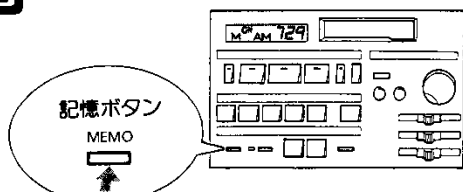


3 選局ボタンのうちいずれか1つを押すとそのボタンに放送局が記憶されます。



選局ボタン1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。

2 記憶ボタン(MEMO)を押します。



4 あらかじめ目的地の放送局の周波数がわかっている場合は、手動選局で周波数にあわせてセットしておくことができます。

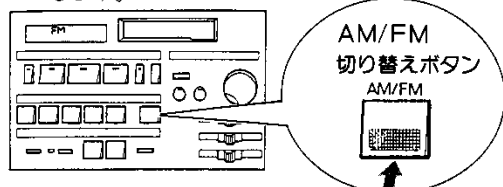


車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度選局ボタンに記憶しなおしてください。

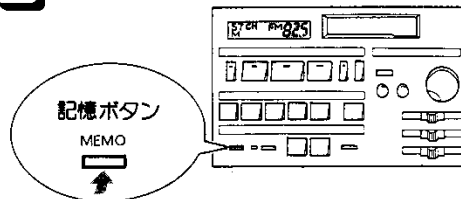
セットの例

選局ボタン2にNHK-FM(東京)82.5MHzを記憶させる場合は下記手順で行います。

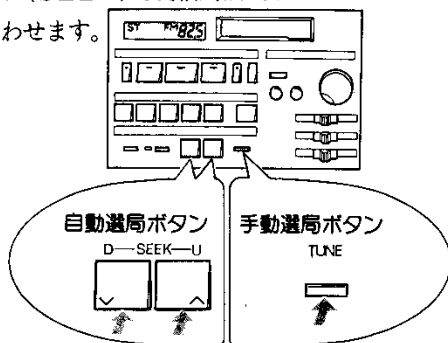
1 AM/FM切り替えボタンを押してFM放送にします。



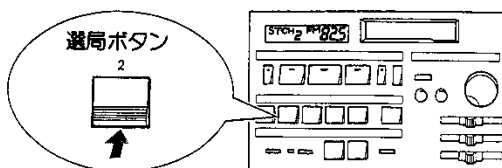
3 記憶ボタン(MEMO)を押します。



2 手動選局ボタン(TUNE)または自動選局ボタン(SEEK)で受信周波数(82.5MHz)にあわせます。



4 選局ボタンの2を押します。



5 以上の操作で選局ボタン2にNHK-FM(東京)が記憶できます。

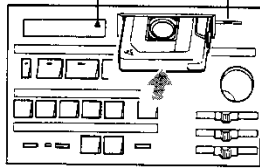
テープを聞くには

- 1** エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



ラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく使用できます。

- 2** テープ差し込み口にテープを差し込みます。
テープ走行方向表示 表示灯

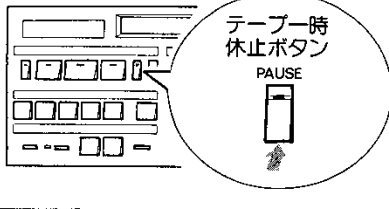


クローム・テープおよびメタル・テープを差し込むと表示灯が点灯します。

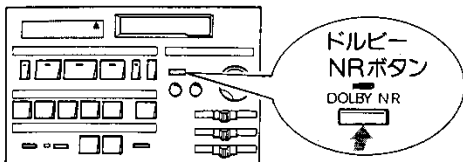


ちょっと一言

ラジオの電源スイッチがONのとき、テープ一時休止ボタン(PAUSE)を押すとラジオ放送に切り替わります。(ラジオの電源スイッチがOFFのときは、一時停止になります。)

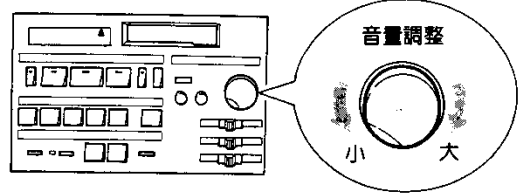


- 3** ドルビー(B)NR※で録音されたテープを使用するときは、ドルビーNRボタン(DOLBY NR)を押します。

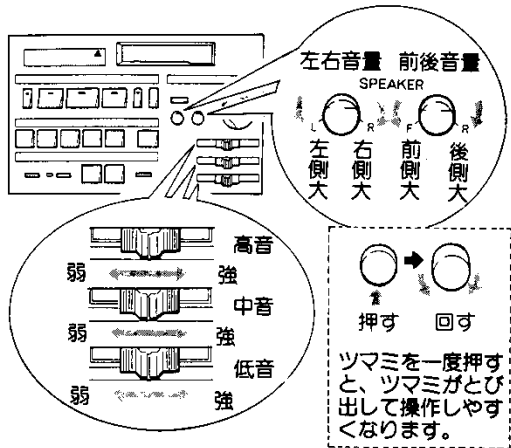


※ドルビーは、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシング・コーポレーションの登録商標です。

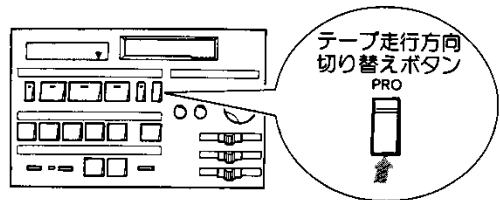
- 4** 音量調整つまみを回して音量を調整します。



- 5** 次の調整つまみについてはお好みに応じて調整してください。



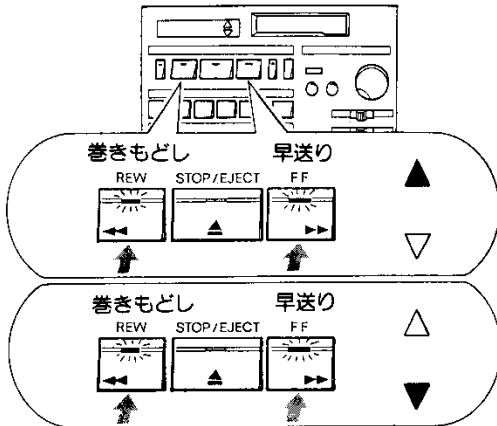
- 6** 再生途中でテープの走行方向をかえたいときは、テープ走行方向切り替えボタン(PRO)を押します。



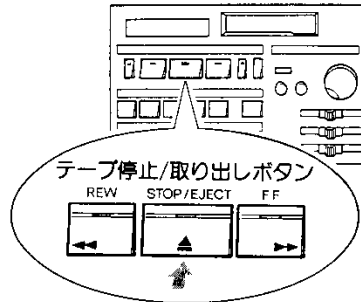
テープ片面の演奏が終わると自動的に反対側の演奏に切り替わります。(オート・リバース機構)

早送り、巻きもどしをするには

- 1** 早送りがしたいときは、早送りボタン (FF) を、巻きもどしがしたいときは、巻きもどしボタン (REW) を押します。

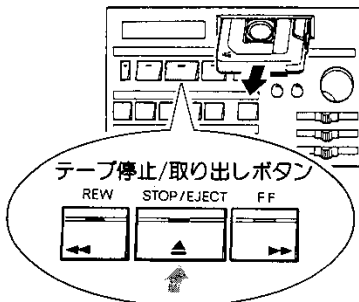


- 2** 早送り、巻きもどしを解除して通常の再生をするときは、テープ停止/取り出しボタン (STOP/EJECT) を押してください。



テープを取り出すには

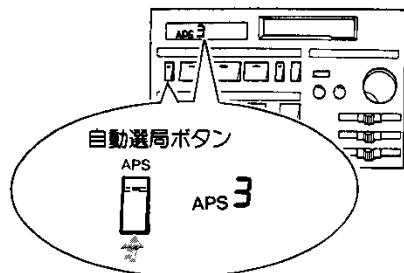
テープ停止/取り出しボタン (STOP/EJECT) を押すとテープが自動的に手前に押し出されます。



自動選曲のしかた

いまお聞きになっている曲の前後、7曲の中から希望曲の頭出しができます。

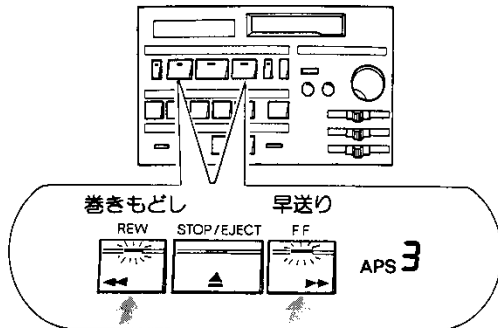
- ① 頭出しをしたい曲の曲数だけ（3曲目の場合）は3回自動選曲ボタン（APS）を押します。



ちょっと一言

自動選曲ボタンのセットはテープ再生中に行ってください。

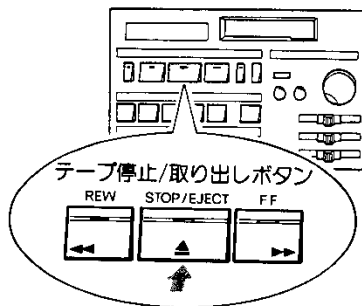
- ② 希望曲まで早送りするときは、早送りボタン（FF）、巻きもどしをするときは、巻きもどしボタン（REW）を押すと希望した曲の頭でテープは止まり、演奏が始まります。



ちょっと一言

1. 巻きもどしの場合、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれますので注意してください。
2. テープの残りの曲数以上の頭出しをしたときは下記ようになります。
 - 早送りのときはテープ反対側の1曲目から演奏されます。
 - 巻きもどしのときは同じ側の1曲目から演奏されます。
3. 曲と曲の間の無音部分が3秒以下のときや、曲と曲の間に雑音のある場合、または極めて小さい音が3秒以上あるテープでは正常に作動しないことがあります。

- ③ 自動選曲を解除したいときは、テープ停止/取り出しボタン（STOP/EJECT）を押してください。

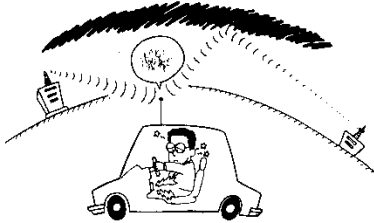


カー・オーディオの上手な使い方

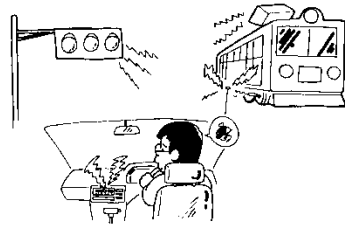
カー・ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例をAM、FM放送別に以下に説明します。

AM放送

- ① 電波の特性上、放送電波が上空(電離層)で反射し干渉することがあります。このため受信状態が不安定になり雑音がいったり、混信する場合があります。

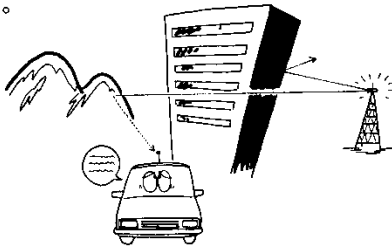


- ② 電車や信号機の近くを走行すると雑音が入る場合があります。



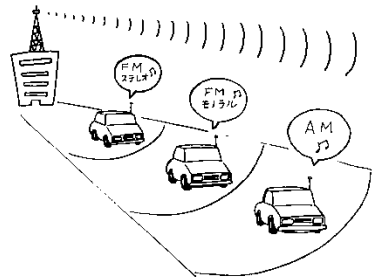
FM放送

電波の特性上、建物や山などが障害物となり、受信状態が悪くなって雑音が入りやすくなります。



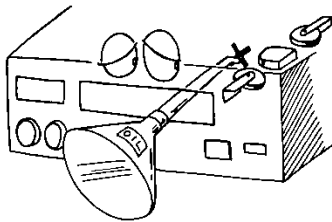
良好な受信ができる範囲

放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。



カセット・ステレオを長持ちさせるには

注油していませんか?

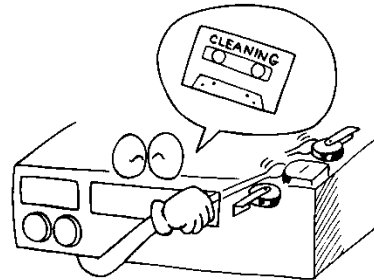


カセット・ステレオには油類を絶対に注油しないでください。故障の原因となります。

いれていませんか?

カセット・テープ差し込み口には、ドライバーなどの金属や磁石などを絶対にいれないでください。

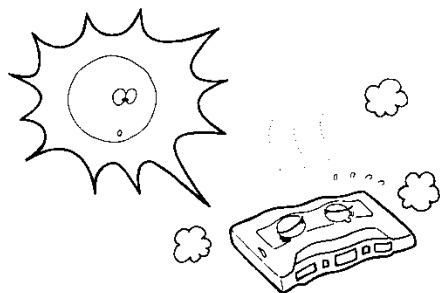
よごれていませんか?



ヘッド周辺部(ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー)はよごれやすいので1か月に1回程度は市販のクリーニング・テープなどでクリーニングしてください。

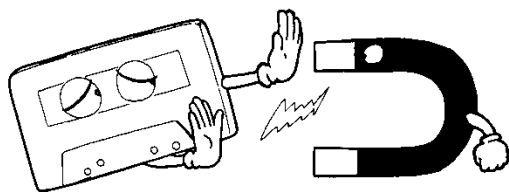
カセット・テープを長持ちさせるには

置いていませんか?

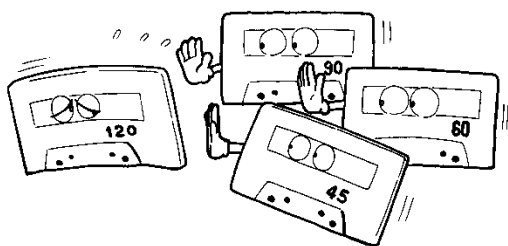


カセット・テープを直射日光の当たるところ、またはほこりのつきやすいところに置かないでください。必ずカセット・ケースに入れてこれらの場所をさけて保存してください。

カセット・テープを磁気のあるものの近くに置くと音質が悪くなります。

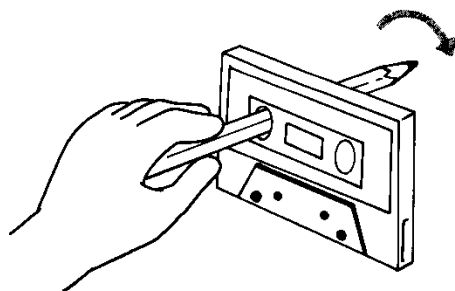


使っていませんか?



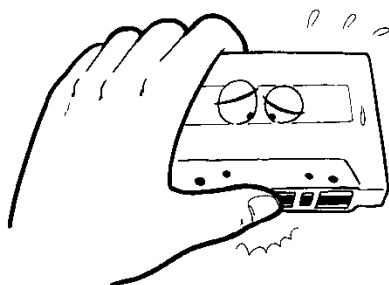
120分テープは、60分、90分テープに比べてテープが非常に薄いため夏期の車室内等の熱によりテープが伸びて、演奏時、音がひずむ場合がありますので使用をさけてください。また、60分、90分テープでも粗悪品を使用すると同じ現象があらわれます。

テープがけこるんでいませんか?



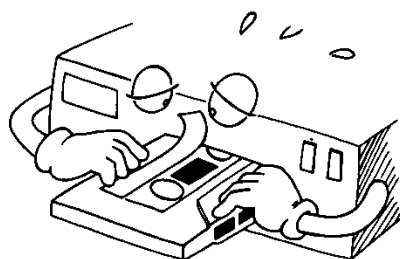
テープにたるみがあると音がひずむ場合がありますので鉛筆などで軽くたるみを取ってからご使用ください。

指が触れていませんか?



テープ面に直接触れると、テープがよごれ音が悪くなる場合がありますので必ずケースを持ってください。

はがれていませんか?



カセット・テープのラベルがはがれかけていたり、ネーム・テープの貼ってあるカセット・テープを使用すると、回転不良やカセット・テープを取り出せなくなる場合がありますので注意してください。